2026年3月17日

令和7(2025)年第4四半期(10～12月)国内概況

一般財団法人日本エネルギー経済研究所
計量分析ユニット

✓ 実質GDPはプラス成長に戻る。物価上昇は鈍化傾向が継続

2025年第4四半期の実質GDP(季節調整済み、2次速報)は前期比0.3%増の591.9兆円でプラス成長に転じた。内需は、データセンターなど情報通信機械への投資拡大により企業設備投資が同1.3%増加したことが影響した。また、住宅投資は、第3四半期に4月の建築物省エネ法改正影響の反動で減少していたが、当期にその戻りがあり前期比4.9%増となった。

鉱工業生産指数(季節調整済み)は前期比0.8%上昇した。生産用機械工業の上昇に加えて、前期に米国の関税政策の影響で低下していた自動車工業の戻りがあったことが影響した。

国内企業物価指数は前年同期比2.6%上昇、消費者物価指数は同2.7%上昇となり、それぞれ19期連続、17期連続で前年同期を上回った。ただし、上昇率は2025年第1四半期を直近ピークに低下している。国内企業物価の上昇率は前期と同じであったが、消費者物価の上昇率は3期連続で低下した。ガソリン・軽油への補助金の段階的拡充も上昇鈍化に寄与した。

(中野　優人)

✓ 主要素材産業の生産量低下と気温により一次エネルギー国内供給は2期連続で減少

一次エネルギー国内供給は前年同期比0.5%減の100.9Mtoeとなり、2期連続で減少した。背景には、エネルギー多消費産業である鉄鋼およびセメント産業の生産活動が低迷したことに加え、暖房需要が高まる2025年12月の気温が前年同月に比べて高く、エネルギー需要を押し下げたことがある。

エネルギー源別にみると、石油と天然ガスは前年同期比で増加し、新エネルギー等、原子力も増加傾向が継続している。一方、石炭は4.8%減と特に減少幅が大きく、石炭火力の発電電力量の減少や、粗鋼生産量の減少による影響を受けた。

新エネルギー等および原子力による供給が増加した一方で、石炭供給が減少したことから、化石燃料依存度は84.5%となり、前年同期比0.5ポイント低下した。また、エネルギー起源CO_2排出量は同1.0%減の227.6Mt-CO_2となり、13期連続の減少となった。ただし、減少量はその13期のうちでは2番目に少ない。

(尾羽　秀晃)

✓ 10エリア電力需要は2期連続で減少。供給では再エネ・原子力増、石炭火力減

2025年第4四半期の全国10エリア電力需要は、2期連続で前年同期比0.4%減少となった。その内訳をみると、10月は同0.2%減、11月は平均気温が全国的に前年同月より低く、暖房需要増などにより同1.2%増、逆に12月は平均気温が全国的にかなり高く、暖房需要減などにより同1.9%減となった。

全国10エリア電力供給量は同0.4%減となった。電源別にみると、水力は同6.8%減となったが、風力は同9.4%増、太陽光は同2.3%増、バイオマスは同21.1%増となり、再生可能エネルギー全体の増加傾向が続いている。LNG火力は同0.6%増、石油火力は同0.3%増となった一方、石炭火力は同5.9%減少したため、化石火力全体で減少となった。原子力は2024年第4四半期の女川２号機と島根２号機の再稼働の影響などで同6.9%増となった。

（張　天鴻）

✓ 燃料油国内販売量はA重油、およびB・C重油の減少が大きく、2期ぶりに減少

2025年第4四半期の燃料油国内販売量は前年同期比0.8%減の3,622万kLとなった。A重油とB・C重油は補助金の効果が他のエネルギーに比べ小さく、価格水準が前年同期を上回ったため需要が抑制され、それぞれ同14.6%減、同14.3%減となった。ガソリンと軽油は補助金の段階的増額や暫定税率廃止による需要喚起と、それを見越した買い控えが期中で価格による影響を相殺した中、低燃費車の普及など構造的な減少要因があり、それぞれ同0.8%減、同1.2%減となった。一方、ナフサはエチレンの増産を受けて、同0.6%増となった。灯油は、前年10月が統計開始以来の最高気温を記録した反動の影響が大きく、同3.7%増となった。

（江藤　諒）

✓ 米国産原油輸入が増加して中東依存度は24期ぶりの低水準

2025年第4四半期の原油輸入量は輸入価格の低下を背景に、前年同期比10.7%増の3,805万kLとなり、2022年第4四半期以来の高水準となった。原油処理量は同2.3%増の3,678万kLとなり、2022年第4四半期以来2期連続の増加となった。中東からの輸入量は同4.5%増の3,462万kLとなった。12月に米国からの輸入が大幅に増えたことから、中東依存度は同5.4ポイント低下し91.0%となり、2019年第4四半期以来の低水準となった。

燃料油の輸入量は灯油、軽油、ガソリンを中心に減少し、同6.5%減の804万kLとなり、3期連続の減少となった。一方、燃料油の輸出量はガソリン、軽油を中心に増加し、同9.5%増の773万kLとなり、3期連続の増加となった。ただし、期中に中国政府による日本への渡航自粛勧告や航空減便指示があった影響で、ジェット燃料油の輸出は同0.2%増にとどまった。

（江藤　諒）

✓ 都市ガス販売量は前年同期比0.7%増、主に家庭用で増加

2025年第4四半期の都市ガス販売量は89.9億m^3（1m^3＝41.8605MJ換算）で、前年同期比0.7%増、2期ぶりに増加した。前期には減少していた家庭用、工業用の増加が販売量全体を押し上げた。

LNG輸入量は同2.1%増と5期ぶりに増加した。ガス事業者の消費量は同1.3%増で、また電気事業者の数量は現時点で公表されていないが、LNG火力発電量の増加を受けて増加したと推察される。石炭輸入量は同2.4%減で、原料炭、一般炭ともに前年を下回った。

（遠藤　聖也）

経済動向、エネルギー需給の推移（四半期ベース）

		2024Q4	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4	伸び率(%) 2024Q4	2025Q1	2025Q2	2025Q3	2025Q4
主要経済指標等	実質GDP（2020年基準10億円）	588,685	590,261	593,800	589,931	591,857	(0.5)	(0.3)	(0.6)	(−0.7)	(0.3)
	名目GDP（10億円）	646,124	651,777	665,980	665,724	671,555	(1.1)	(0.9)	(2.2)	(−0.0)	(0.9)
	鉱工業生産指数(2020年=100)	101.8	101.5	101.9	102.0	102.8	(0.4)	(−0.3)	(0.4)	(0.1)	(0.8)
	素材系生産量（千t）										
	粗鋼	20,720	20,396	20,148	19,930	20,197	−4.1	−4.9	−5.2	−3.2	−2.5
	エチレン	1,312	1,320	1,228	1,236	1,348	−5.8	−0.9	6.7	3.6	2.7
	セメント	11,116	9,698	9,754	9,604	10,458	−4.7	−6.5	−4.8	−6.7	−5.9
	紙・板紙	5,538	5,319	5,233	5,251	5,300	0.9	−1.0	−1.1	−2.9	−4.3
	国内企業物価指数(2020年=100)	124.6	125.8	126.5	126.7	127.9	3.9	4.3	3.3	2.6	2.6
	消費者物価指数(2020年=100)	110.1	111.0	111.7	112.0	113.0	2.9	3.8	3.4	2.9	2.7
	為替相場（日銀)(¥/$)	152.36	152.54	144.55	147.44	154.09	(2.1)	(0.1)	(−5.2)	(2.0)	(4.5)
	暖房度日(度日)	258.6	644.7	31.5	−	238.9	10.7	8.9	142.3	n.a.	−7.6
	冷房度日(度日)	14.5	−	86.7	592.3	14.6	935.7	n.a.	100.2	0.3	0.7
一次エネルギー	国内供給(ktoe)	101,412	106,639	93,010	104,210	100,919	0.3	−1.6	1.1	−1.1	−0.5
	石炭	26,553	27,389	21,511	29,415	25,287	−0.5	−1.6	−0.6	−2.5	−4.8
	石油	37,843	38,472	33,224	33,723	38,114	−3.0	−1.5	−1.2	0.1	0.7
	原油(国産を含む)	32,808	31,498	29,800	30,584	34,062	−2.8	−5.4	−0.2	5.7	3.8
	石油製品	5,035	6,974	3,424	3,139	4,052	−4.3	21.1	−8.5	−33.9	−19.5
	ガス(天然ガス、LNG)	21,809	24,462	18,384	21,917	21,854	2.9	−5.9	1.5	−5.0	0.2
	国産天然ガス	476	557	439	402	449	−5.7	5.9	−6.6	−9.7	−5.6
	LNG	21,333	23,905	17,945	21,515	21,404	3.1	−6.2	1.7	−5.0	0.3
	水力	3,088	2,833	5,202	4,061	2,800	13.8	−20.3	3.6	−8.1	−9.3
	原子力	4,702	5,252	4,907	4,870	5,032	11.7	21.7	6.1	10.2	7.0
	新エネルギー等	7,417	8,229	9,781	10,223	7,832	1.9	8.7	8.8	6.6	5.6
	CO_2排出量(Mt-CO_2)	230.0	241.9	193.5	231.1	227.6	−1.4	−2.2	−0.5	−1.6	−1.0
電力需給	発受電電力量(百万kWh)※1	290,877	322,070	278,553	351,291	n.a.	2.7	4.1	5.0	5.0	n.a.
	水力	17,862	16,580	29,776	23,846	n.a.	14.1	−17.1	4.0	−5.2	n.a.
	火力	163,036	183,758	127,282	185,709	n.a.	−0.7	0.2	1.7	−1.0	n.a.
	原子力	22,131	24,710	22,991	22,782	n.a.	11.9	21.9	5.7	9.8	n.a.
	新エネルギー等	29,263	32,122	39,465	40,906	n.a.	−1.3	8.9	4.1	10.2	n.a.
	太陽光	22,062	23,953	33,776	36,885	n.a.	−6.4	6.2	3.4	11.2	n.a.
	その他	58,586	64,899	59,039	78,048	n.a.	8.8	15.3	14.0	21.8	n.a.
	燃料消費※1										
	石炭(千t)	26,471	28,829	18,134	30,451	n.a.	1.9	4.8	−0.8	−1.5	n.a.
	原油(千kL)	1	5	3	28	n.a.	−88.2	−18.7	149.2	470.4	n.a.
	重油(千kL)	517	797	354	547	n.a.	−33.1	−18.4	−23.8	−29.3	n.a.
	LNG(千t)	8,955	10,080	7,258	9,738	n.a.	0.4	−5.7	−0.4	−7.6	n.a.
	都市ガス(千m^3)	1,140	963	788	1,404	n.a.	3.4	−23.3	−15.1	−5.1	n.a.
	販売電力量(百万kWh)※1	200,735	233,605	190,764	238,824	n.a.	1.2	2.3	0.3	1.0	n.a.
	低圧	66,866	99,020	61,886	84,016	n.a.	1.1	5.8	−0.2	2.4	n.a.
	電灯	59,568	89,465	55,139	73,597	n.a.	1.1	6.0	0.1	2.4	n.a.
	電力	7,298	9,555	6,747	10,420	n.a.	1.0	3.8	−2.8	2.0	n.a.
	高圧	69,716	72,588	65,113	83,987	n.a.	1.9	1.3	0.2	1.0	n.a.
	特別高圧	53,746	51,686	54,045	60,122	n.a.	1.0	−0.9	0.2	0.3	n.a.
	電力需要(百万kWh)※1	207,649	231,115	190,578	242,632	206,784	1.1	0.9	1.7	−0.4	−0.4
都市ガス販売	都市ガス販売量(万m^3)※2	892,656	1,182,875	867,304	876,081	898,906	−2.9	2.6	1.7	−2.1	0.7
	家庭用	191,804	378,109	228,919	103,521	199,745	−3.3	3.5	1.7	−5.5	4.1
	商業用	86,058	117,032	83,256	108,198	85,432	1.3	3.4	0.6	−0.1	−0.7
	工業用	542,630	584,858	494,288	565,168	544,033	−4.8	1.2	1.8	−2.2	0.3
	その他用	72,163	102,876	60,842	99,194	69,696	8.4	6.9	2.9	0.5	−3.4
石油製品販売	燃料油販売（千kL）	36,506	36,174	31,713	33,340	36,217	−4.0	−4.6	−2.1	1.1	−0.8
	ガソリン	11,002	10,201	10,502	11,957	10,917	−1.6	−1.8	0.2	0.0	−0.8
	ナフサ	9,009	8,428	8,204	8,512	9,062	−3.5	−8.4	−5.4	7.2	0.6
	ジェット燃料油	1,038	1,022	1,127	984	1,036	−6.7	−7.0	1.2	−7.5	−0.2
	灯油	3,587	5,168	1,346	966	3,719	−10.2	−1.8	2.8	−6.0	3.7
	軽油	7,950	7,366	7,532	7,855	7,853	−1.8	−1.2	−0.4	−0.1	−1.2
	A重油	2,623	2,862	2,058	1,902	2,477	−0.9	0.2	−6.9	−5.6	−5.6
	B・C重油	1,297	1,128	945	1,164	1,154	−21.5	−31.2	−10.1	4.5	−11.0
	うち電力向け	552	572	318	423	n.a.	−42.4	−39.2	−35.1	−27.4	n.a.
	LPG(千t)	3,011	3,359	2,750	2,403	3,079	−4.0	−4.4	−2.2	3.5	2.3
原油需給	輸入量(千kL)	34,376	36,318	33,186	32,184	38,048	−6.7	3.6	1.0	−1.7	10.7
	中東依存度(%)	96.4	96.6	93.7	92.9	91.0	[3.9]	[1.9]	[−2.0]	[−2.1]	[−5.4]
	原油処理量(千kL)	35,963	34,590	32,656	33,554	36,776	−2.9	−5.4	−0.4	5.7	2.3
エネルギー価格	通関レート(¥/$)	150.40	153.79	145.28	146.99	152.87	(−0.8)	(2.3)	(−5.5)	(1.2)	(4.0)
	原油価格(輸入CIF、$/bbl)	78.19	78.74	75.29	72.18	71.63	(−9.1)	(0.7)	(−4.4)	(−4.1)	(−0.8)
	LNG価格(輸入CIF、$/t)	624.00	621.73	598.41	571.69	549.03	(1.0)	(−0.4)	(−3.8)	(−4.5)	(−4.0)
	一般炭価格(輸入CIF、$/t)	154.22	141.10	120.60	119.34	120.49	(0.4)	(−8.5)	(−14.5)	(−1.0)	(1.0)
	化石燃料輸入額（億円）	63,016	63,091	50,300	52,072	55,969	−12.5	−6.3	−17.4	−18.3	−11.2

注：伸び率は前年同期比。但し()内は前期比、[ ]内は前年同期差。
※1 発受電電力量、燃料消費量、販売電力量は、資源エネルギー庁「電力調査統計」、電力需要は、電力広域的運営推進機関が発表する流通需要。
※2 都市ガス販売量は1m3＝41.8605MJ換算

お問い合わせ: report@tky.ieej.or.jp